

コウガの森・共和から

園長 小林 崇

新しい日々

園の周りでは田んぼに植えられた麦が青々と育ち、爽やかな新緑の季節の訪れが感じられるようになりました。

保育始業から3週が経ち、当初は泣き声が聞こえてきた保育室からも、次第に先生とやり取りをする声や楽しそうに朝会をする様子が聞こえてくるようになりました。新入園児全員が1日園で過ごせるようになったことをとても嬉しく感じています。園の環境に慣れ、様々な興味・関心を発揮できるよう一生懸命保育を行なっていきたいと思います。

さて、4月は新しい職員も多く迎えました。今年度は、2・3歳児クラスに新卒の先生を2名迎えました。極度の緊張の中で入園・始業式を迎え、社会人・先生としてデビューしてから3週が経過し、新任の先生たちも次第に表情が柔らかくなり、頑張ろうとする姿が見られるようになりました。

先輩に分からないことを食らいついて聞いている姿、保育の後始末に「私もやります」と駆け寄ってくる姿、係りの仕事を真面目に行なおうとする姿、退勤するときに「ありがとうございます」と行って帰っていく姿。疑問に答え、保育と新卒の教育を同時に行なう先輩の姿。

一生懸命さを形で表そうとしている新任と先輩保育教諭の努力に感謝すると同時に、園長として職員の成長を預かる責任を感じています。5月末には2・3歳児の遠足を予定しています。入園・始業式の姿と比べて、担任として成長している姿が見られることと思います。

職員の成長にも暖かいまなざしを向けていただけましたら幸いです。



園で毎日行なう活動に参加できるようになり、お友達と遊びあえる姿がみられるようになったことを嬉しく感じています。先生との愛着関係やお友達との共感の輪を広げ、様々な活動を経験し、興味関心を広げて欲しいと感じています。